

【見学レポート】「地域といっしょに」創り、育み、癒す

ー内田病院が示す、命から生活、そして「人生 (LIFE)」を支える町作りー

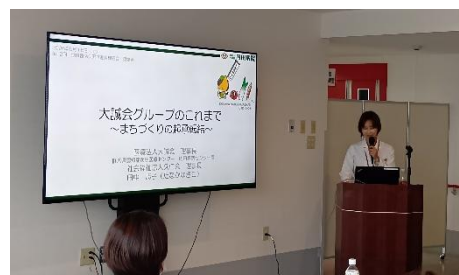
2026年5月16日、群馬県沼田市の大誠会内田病院を訪問しました。そこで目にしたのは、単なる医療機関の枠を超え、地域の足りないピースを一つずつ埋め続けることで結実した、一つの「町」の姿でした。

1. 「足りないピース」を埋めた先にあった町作り

田中志子理事長が掲げる「地域といっしょに。あなたのために。」という理念。この言葉を具現化するプロセスは、徹底して地域ニーズに呼応したものでした。「住んでいる地域を良くしよう。その土地に無い施設は自分たちで作ろう」。

その方針のもと、群馬県認知症疾患医療センターの運営をはじめ、事業所内保育施設、就労継続支援B型事業、そして地域の憩いの場となる SONATARUE (ソナタリユエ) など、0歳から100歳までが自然につながる拠点を次々と展開してきました。

驚くべきは、これらの新規事業の多くが「利益が出るから」ではなく、「地域に必要なだから」という理由でスタートしている点です。一つひとつ足りないピースを埋めていった結果、それはいつしか地域の中で欠かすことのできない存在として根づき、多世代が共生する「町作り」へと進化を遂げていました。



2. 急性期の「命」から、慢性期の「生活」、そして「人生 (LIFE)」へ



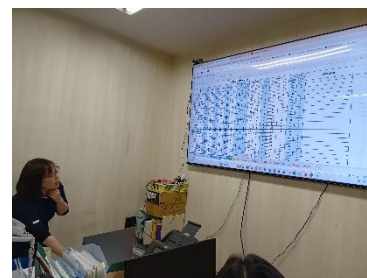
今回の見学会で最も印象的だったのは、ケアの対象となる方を「支援される側」として固定しない姿勢です。高齢者や認知症の方を、地域の担い手・貢献者として尊重し、その人が誰かの役に立てる環境を創る。この「役割」と「生きがい」を重視する視点こそが、同院の掲げる「人生 (LIFE)」を支えることの本質だと感じました。

また、病床運営においても「ベッドを埋めること」自体を目的化せず、地域で他に受け入れが難しい困難な症例を積極的に引き受けるといふ、地域における自院の役割を明確にした「循環型支援」を実践されています。20年以上にわたる「身体拘束ゼロ」という取り組みも、こうした一人ひとりの人生を尊ぶ文化の延長線上にあります。

3. テクノロジーが可能にする多職種間の「有機的な連携」

同院の ICT 活用は、単なる効率化を超え、チーム医療の質を劇的に高めていました。

象徴的なのが、デジタルホワイトボードを用いた「ホワイトボード会議」です。病院・介護・在宅・施設の各サービス担当者が集まり、リアルタイムで情報を共有。特定の「空いている場所」へ誘導するのではなく、今の状態に最も合った場所や支援方法は何かを多職種で検討する「その人に合う暮らしを考える」場となっていました。





デジタルによる余白の創出が、スタッフが本来の業務である「患者様や利用者様と向き合う時間」を確保し、切れ目のない支援を実現する重要な基盤となっています。

4. 参加者の感想：見学を通じて実感したこと

見学を終えた参加者からは、法人としての一貫した姿勢と、そこで働く「人」の輝きに感銘を受けたという声が多く寄せられました。

- 法人としての明確なビジョンのもと、地域とのつながりや存在意義、職員を大切にしている姿勢がすべて形となって実現されていることに圧倒されました。これほどまでに『ここで働く職員が羨ましい』と感じたのは初めてです。
- 職員のお子さんを対象とした『親が働く姿を見る』企画など、次世代への想いも具体的で驚きました。そこで働く皆様が生き生きとされており、働き続けたいと思える組織風土が築かれていることが非常に印象的でした。

5. 見学を終えて（お礼メッセージ）

■ 担当役員より

田中志子理事長先生はじめ大誠会の法人職員の皆様、この度は施設見学会を快く引き受けて頂き本当に有難うございました。お忙しい日々のお仕事の中まごころもったご準備頂き、おかげさまで参加して頂いた方々にとって大変有意義な見学会になりました。

田中理事長の、

「地域にとって足りない機能を創り続ける」そして、「地域にとっても、職員にとってもみんなが幸せになれるようにやれる事は全て徹底的にやる」そうしたら、「幸せな人が集まるのは幸せな場所」となりました。

の熱いメッセージに心が轟きました！



地域包括ケアシステムのど真ん中を支える地域包括ケア病棟や地域包括医療病棟を運営する我々にとって、現在（いま）は都会や地方であっても関係なく、多様性を生かして将来はこのようになれるといいよね！を実感できたのではと思います。

この度は本当に有難うございました。

■ 内田病院（受け入れ病院）様より

見学会は、自分たちが日頃行っている取り組みを振り返り、良い実践を改めて認識できる機会であると同時に、他病院の工夫や取り組みを知ることができる、大変貴重な学びの場であると改めて感じました。

また、見学に来てくださった方々からいただく温かい言葉は、職員にとって大きな励みとなり、日々の取り組みへの自信、やりがいにつながっています。見学会は、学び合いだけでなく、職員のモチベーション向上にもつながる大切な機会だと感じました。